

成果指標について※

※本審議会の「答申」ではなく、本市が作成する「横浜市住生活基本計画」の素案に反映予定。

■ 成果指標（案）

目標	項目			現状値	目標値
【目標1】 新たなライフスタイルに対応し、多様なまちの魅力を生かした、豊かな住宅地の形成	1	「住宅及び住環境に対して満足」と思う市民の割合	継続（7-2）	81.9% (H30/2018)	増加 (R10/2028)
	2	「市内での定住意向」のある市民の割合	継続（7-4）	76.6%	増加
	3	「街並みや景観の形成・保全に対して満足」している市民の割合【住み】	継続（7-3）	17.1%	増加
	4	横浜に住み続ける理由として「買い物、医療などの生活環境が整っているから」の割合【住み】	新規	35.2%	増加
	5	横浜に住み続ける理由として「通勤・通学に便利だから」の割合【働き】 (調整中)	新規	30.1%	増加
	6	横浜に住み続ける理由として「余暇や休日を楽しく過ごせる場所だから」の割合【楽しみ】	新規	19.1%	増加
	7	「近隣の人たちやコミュニティとの関わりに満足」と思う市民の割合【交流】	継続（7-1）	76.7% (H30/2018)	増加 (R10/2028)
【目標2】 災害に強く、安全な住まい・住宅地の形成と被災者の住まいの確保	1	耐震性が確保された住宅数の割合（耐震化率） （「第3期横浜市耐震改修促進計画」に定める目標値と同じ）	継続（6-1）	93% (R2/2020)	95% (R7/2025)
	2	条例による防火規制に伴う耐火性の高い建築物の建築件数 ※現在策定中の新たな「地震火災対策方針」において別の指標が定められた場合には、当該指標に替える場合がある。	継続（6-2）		
	3	よこはま防災力向上マンション認定制度の認定件数（累計）	新規	0件	110件

※現状値：特に記載がない場合、2021（令和3）年度（2022.3.25）実績値。

※目標値：特に記載がない場合、2031（令和13）年度末実績値。

【目標2】の1については、「第3期横浜市耐震改修促進計画」の計画期間が2022(令和4)～2025(令和7)年度のため、2025(令和7)年度末で設定。

■ 成果指標（案）

目標	項目		現状値	目標値	
【目標3】 多様な世帯が健康で安心して暮らせる住まい・コミュニティの形成	1	横浜市の施策で行う公的住宅等における子育て世帯に配慮された住宅供給戸数（累計）	継続（1-1）	9,465戸	11,000戸
	2	高齢者人口に対する高齢者向け住宅の割合	継続（1-3）	3.6%	4%
	3	子育て世帯の居住する住宅のうち、一定のバリアフリー性能及び断熱性能を有する住宅の割合	新規（1-2改）	21.8% (H30/2018)	30% (R10/2028)
	4	高齢者の居住する住宅のうち、一定のバリアフリー性能及び断熱性能を有する住宅の割合	新規（1-4改）	13.4% (H30/2018)	25% (R10/2028)
	削除	子育て世帯における誘導居住面積水準達成率（1-2）	全国計画より居住面積水準に関する指標が削除されたため、「No3」で新たに設定		
	削除	高齢者の居住する住宅の一定のバリアフリー化率（1-4）	全国計画がバリアフリーと断熱性能の指標に変更されたため、「No4」で新たに設定		
	削除	「普段の生活を自宅で暮らしたい」と思う高齢者の割合（1-5）	削除理由・・・高齢期の住まい方の多様化を配慮し削除		
	削除	多世代型住宅の整備件数（1-6）	整備戸数を子育てに配慮された住宅「No1」及び高齢者向け住宅「No2」に統合		
【目標4】 住宅・福祉施策が一体となった重層的な住宅セーフティネットの充実	1	家賃補助付きセーフティネット住宅の供給戸数（累計）	新規	103戸	2,000戸
	2	住まいに関する相談窓口	継続（2-2）	15か所	増加
	削除	住宅確保に特に配慮を要する方々に関する住宅相談年間件数（2-1）	相談件数の増加が必ずしも良いことではないため「No2」に整理統合		
	削除	最低居住面積水準未満率（2-3）	全国計画より居住面積水準に関する指標が削除されたため		

※下線部は全国計画（2021.3）と同じ成果指標・目標値であるもの。

※現状値：特に記載がない場合、2021（令和3）年度（2022.3.25）実績値。

※目標値：特に記載がない場合、2031（令和13）年度末実績値。

■ 成果指標（案）

目標	項目		現状値	目標値	
【目標5】 脱炭素社会の実現に向けた 良質な住宅ストックの形成	1	家庭部門におけるエネルギー消費量の削減率（2013年度比） ※現在改定中の「横浜市温暖化対策実行計画」において定められる目標値とする。	新規	9% (R1/2019)	% (R12/2030)
	2	ZEHの断熱性能を上回る、より高い省エネ性能の住宅を供給する市内事業者数（累計） （(仮称)よこはま健康・省エネ住宅事業者登録数）	新規	—	450社 (調整中)
	3	<u>長期優良住宅として認定された戸数（累計）</u>	継続（3-2）	26,440戸 (R2/2020)	53,000戸
	4	既存住宅の流通戸数の新築を含めた全流通戸数に対する割合（調整中）	継続（3-3）	18.5% (H30/2018)	25% (調整中)
	5	住まいに関する相談窓口【4-2再掲】	継続（2-2）	15か所	増加
	削除	新築住宅における省エネ基準を達成している住宅の割合（5-1）	適合義務化により2025年までに100%となる予定のため		
	削除	断熱性に配慮された住宅（全部又は一部の窓に二重サッシ又は複層ガラスを使用した住宅）の割合（5-2）	2050年カーボンニュートラルの指標と整合させるため「No1」に移行		
	削除	住宅ストックに対する年間リフォーム実施戸数割合（3-4）	国データ非公表となり算定不可能となったため		
【目標6】 マンションの管理適正化・再生円滑化の推進	1	マンション実態把握調査の回答率 （(仮称)「横浜市マンション管理適正化推進計画」に定める目標値と同じ）	新規	64.4% (R2/2020)	75% (R8/2026)
	2	働きかけにより管理の改善に至った管理組合数（累計） (")	新規	6件 (R2/2020)	15件 (R8/2026)
	3	管理計画認定制度の認定件数（累計） (")	新規	—	150棟 (R8/2026)
	削除	横浜市に登録され、講習会等の情報提供や管理をサポートできるマンション管理組合数（3-2）	「No1」の新規項目に移行		

※下線部は全国計画（2021.3）と同じ成果指標であるもの。

※現状値：特に記載がない場合、2021（令和3）年度（2022.3.25）実績値。

※目標値：特に記載がない場合、2031（令和13）年度末実績値。

【目標6】については、(仮称)「横浜市マンション管理適正化推進計画」の計画期間が2022(令和4)～2026(令和8)年度のため、2026(令和8)年度末で設定。

■ 成果指標（案）

目標	項目			現状値	目標値
【目標7】 総合的な空家 等対策の推進	1	一戸建て空家のうち、別荘、賃貸・売却等以外の住宅（その他の住宅）の戸数	継続（4-1）	20,200戸 (H30/2018)	22,000戸程度 に抑える (R10/2028)
	2	市の支援を受けて実現した、一戸建て空家等の活用件数	新規	5件/年 (R3/2021)	100件 (R4～13累計)
	3	市の支援・指導を受けて除却した、一戸建て空家の戸数（調整中）	新規	●戸/年 (R3推計) (調整中)	●戸 (R4～13累計) (調整中)
	削除	住宅ストックに対する年間リフォーム実施戸数割合（3-4）	国データ非公表となり算定不可能となったため		
	削除	【再掲】既存住宅の流通戸数の新築を含めた全流通戸数に対する割合（4-2）	「No 2、No 3」の新規項目に移行（目標5のNo 4で継続）		

※下線部は全国計画（2021.3）と同じ成果指標であるもの。

※現状値：特に記載がない場合、2021（令和3）年度（2022.3.25）実績値。

※目標値：特に記載がない場合、2031（令和13）年度末実績値。

【参考】現行計画と計画素案（案）の成果指標の対応関係

■現行計画

視点・目標	指標案（グレー塗：非継続）		
人	【目標1】 若年世帯から子育て世帯や高齢者世帯まで、安心して暮らせる住まいの確保や住まい方の実現	横浜市の施策で行う公的住宅等における子育て世帯に配慮された住宅供給戸数 子育て世帯における誘導居住面積水準達成率 高齢者人口に対する高齢者向け住宅の割合 高齢者の居住する住宅の一定のバリアフリー化率 「普段の生活を自宅で暮らしたい」と思う高齢者の割合 多世代型住宅の整備件数	
	【目標2】 重層的な住宅セーフティネットの構築による住宅確保要配慮者の居住の安定確保	住宅の確保に特に配慮を要する方々に関する住宅相談年間件数 住まいに関する相談連携窓口 最低居住面積水準未達率	
	住まい	【目標3】 良質な住宅ストックの形成	横浜시에登録され、講習会等の情報提供や管理をサポートできるマンション管理組合 新築住宅のうち、長期優良住宅として認定された戸数（増改築を含む） 既存住宅の流通戸数の新築を含めた全流通戸数に対する割合 住宅ストックに対する年間リフォーム実施戸数割合
		【目標4】 総合的な空家対策の推進	一戸建て空家のうち、別荘、賃貸・売却等以外の「その他の住宅※」の戸数 既存住宅の流通戸数の新築を含めた全流通戸数に対する割合【再掲】 住宅ストックに対する年間リフォーム実施戸数割合【再掲】
		住宅地・住環境	【目標5】 低炭素社会の実現に向けた環境にやさしい住まいづくり
	【目標6】 災害に強く、安全・安心な住宅と住環境の形成		耐震性が確保された住宅数の割合（耐震化率） 条例による防火規制に伴う耐火性の高い建築物の建築件数
【目標7】 住み慣れた身近な地域で、誰もが安心して暮らし続けられる、持続可能な住宅地・住環境の形成	「近隣の人たちがコミュニティとの関わりに満足」と思う市民の割合 「住宅及び住環境に対して満足」と思う市民の割合 「街並みや景観の形成・保全に対して満足」している市民の割合 「市内での定住意向」のある市民の割合		

■計画素案（案）

視点・項目	指標案（赤字：新規 その他：継続）	
社会環境の変化	【目標1】 新たなライフスタイルに対応し、多様なまちの魅力を生かした豊かな住宅地の形成	「住宅及び住環境に対して満足」と思う市民の割合
		「市内での定住意向」のある市民の割合
		「街並みや景観の形成・保全に対して満足」している市民の割合 【住み】
		横浜に住み続ける理由として「買い物、医療などの生活環境が整っているから」の割合 【住み】
		横浜に住み続ける理由として「通勤・通学に便利だから」の割合（調整中）【働き】
		横浜に住み続ける理由として「余暇や休日を楽しみ過ごせる場所だから」の割合 【楽しみ】
居住者・コミュニティ	【目標2】 災害に強く、安全な住まい・住宅地の形成と被災者の住まいの確保	「近隣の人たちがコミュニティとの関わりに満足」と思う市民の割合 【交流】
		耐震性が確保された住宅数の割合（耐震化率）
		条例による防火規制に伴う耐火性の高い建築物の建築件数
		よこはま防災力向上マンション認定制度の認定件数（累計）
		横浜市の施策で行う公的住宅等における子育て世帯に配慮された住宅供給戸数（累計）
		高齢者人口に対する高齢者向け住宅の割合
住宅ストック	【目標3】 多様な世帯が健康で安心して暮らせる住まい・コミュニティの形成	子育て世帯の居住する住宅のうち、一定のバリアフリー性能及び断熱性能を有する住宅の割合
		高齢者の居住する住宅のうち、一定のバリアフリー性能及び断熱性能を有する住宅の割合
		【目標4】 住宅・福祉施策が一体となった重層的な住宅セーフティネットの充実
		家賃補助付きセーフティネット住宅の供給戸数（累計）
		住まいに関する相談窓口
		【目標5】 脱炭素社会の実現に向けた良質な住宅ストックの形成
住宅ストック	【目標5】 脱炭素社会の実現に向けた良質な住宅ストックの形成	家庭部門におけるエネルギー消費量の削減率（2013年度比）
		ZEHの断熱性能を上回る、より高い省エネ性能の住宅を供給する市内事業者数（（仮称）よこはま健康・省エネ住宅事業者登録数）
		長期優良住宅として認定された戸数（累計）
		既存住宅の流通戸数の新築を含めた全流通戸数に対する割合（調整中）
		住まいに関する相談窓口【4-2再掲】
		【目標6】 マンションの管理適正化・再生円滑化の推進
住宅ストック	【目標6】 マンションの管理適正化・再生円滑化の推進	マンション実態把握調査の回答率
		働きかけにより管理の改善に至った管理組合数（累計）
		管理計画認定制度の認定件数（累計）
		一戸建て空家のうち、別荘、賃貸・売却等以外の住宅（その他の住宅）の戸数
		市の支援を受けて実現した、一戸建て空家等の活用件数
		市の支援・指導を受けて除却した、一戸建て空家の戸数（調整中）